



山あり谷あり子育て雑感 Vol 4



長い夏休みが明け、子どもたちが一回りも二回りも大きく成長してまた学校に戻って来たと思ったのも束の間、もう10月です！ 時が飛ぶ様に過ぎていきますね。西大和の2学期は特に行事がぎゅっと詰まって、親子共々大忙しの季節ですが、そんな慌ただしさの中においても、時には気持ちが一瞬、リセットできる時間があるといいですね。私自身、仕事と子育てを必死の形相でやりくりすること十数年。ようやくこの頃「心の深呼吸」を意識して、一日のほんの数分でも自分を整える時間を持つようになりました。といっても大したことでなく、日々出会う心に残る言葉やフレーズを手帳にその都度書きとめ、夜それらを読み返して反芻するというものです。これはとってお薦めで、「ああ、そうだよなあ、うまいこというなあ」と腑に落ちて、自分や自分を取り巻く状況を客観的に眺めることができ、「よし大丈夫」と一日を終えることができるのでお薦めです。

さて、「腑に落ちる」ということ。これは実は子どもにとってこそ、大変重要なポイントで、子どもが心底理解できるように話をしてやれると、もう少し親も子も悩みが減るのだろうと思う事多しなのですが、難しい真理を子どもが「わかる！」ようにかみ砕いて言葉に落とす天才だと思う人がいらっしゃいます。「声に出して読みたい日本語」や「にほんごであそぼ」で皆さんご存知の教育学者、斎藤孝さんです。子ども向けに多くの本を出されていて、どの本も、どの子にも読んで欲しいと思う程、本当にすばらしいです。（※NICCにも数冊あります♪）

それらの本の中から少し紹介させていただきます。本ではこれらのことばの解釈も分かり易く子ども目線で説明してくれています。良かったらお手にとって読んでみてください。

子どものためのハッピールールより	子どものためのチャレンジルールより
<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだいげんかをした時は「負けるが勝ち」とつぶやこう ・先生に怒られたときは、一回素直にダウンして反省しよう、そしてまた立ち上がろう ・「バカ」って言われた時はかえって「ラッキー」と思っておけばいい ・人前で失敗しちゃった時は、「失敗は成功の母」とつぶやこう ・忘れ物が多い人は、ふだんから指差し確認をしよう ・片付けが苦手な人へ、物を持ちすぎない ・玄関でくつを脱いだらそろえよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強なんて、と思ってる人へ 「勉強すると物知りになる。だからオモシロ人間になれるんだ」 ・カッコいい人になりたい人へ 「自分の中のしつと心をやっつけよう」 ・あこがれる気持ちが生まれたい人へ 「とにかくたくさん伝記を読もう」 ・机に座ってもボーッとしちゃう人へ 「ストップウォッチを目の前に置いてヨーイドンで勉強してみよう」 ・算数が苦手な人へ 「国語ができれば算数もできるようになる」

いずれも 斎藤孝著 PHP 研究所出版より

文責 園長 田野瀬夏子